

「荒川大崩壊地」で現在
位置を確認した

荒川大崩壊地

旧道

次第に踏み跡程度に
なり、しかも傾斜が急
になったため、道に
迷ったと判断。現在位
置を確認し来た道を
戻った。



荒川岳を縦走し荒川小屋へ向かう。中岳（3083.7m）を通過し、南西に登山道を下る。次第に踏み跡程度になり、しかも傾斜が急になったため、道に迷ったと判断。地図を見ると、前岳と中岳の真ん中のコルからトラバース気味に登山道は付いていた。今いる登山道は、旧道で、「荒川大崩壊地」のため廃道になっていた。現在位置は、「荒川大崩壊地」で確認できた。コルまで戻り荒川小屋に辿り着いた。（HP参照）

3,000m級のアルプスで道に迷うことは、非常に危険だ。中岳を通過し前岳を通過した。おかしいと思い地図を確認し、現在位置が判断できたところで、冷静な判断がされている。焦ることなく、雨模様の中、雨具を着け、ゆっくりとコルまで戻り、薄暗くなった雨の中、荒川小屋に着くことができた。

国土地理院の地図は廃道になっている場合でも、そのまま地図に記載されている登山道も多い。このため、地図が分かるが故の道迷いも発生している。常に、道が無くなったり、不鮮明になったときには、注意深く地図を確認し、目の前の景色観察することが大切である。